

重点アクションプラン

■整備計画

①整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	備考
			平成28	平成29	平成30	平成31	平成32	平成33	平成34	平成35	平成36	平成37	
施設整備	下水道	未整備地域の整備											効率的な区域の整備
実行メ ニュー (早期概 成)	共通	低コスト手法による整備											
		事業費の増加による事業期間の短縮											公共下水道事業費を2.4億/年から3.4億/年に増加

②目標値及び概算事業費等

	全体	流域関連公共下水道		集落排水施設	その他 集合処理 (公共事業) (コミプラ)	浄化槽		その他 (民間設置集中浄化槽)	アクションプラン 実行時の効果	備考	
			暫定浄化槽			個人 設置型	市町村 設置型				
整備手法	整備人口(人)	22,943	13,330	9,613							
	※中段:アクションプランの整備人口数	(8,063)	(8,063)	(0)							
	※下段:アクションプランの整備人口数(流入人口)	(1,155)	(1,155)								
	整備面積(集合処理分)(ha)	611.0	172.7	438.3							
目標値	※下段:アクションプランの整備面積	(94.8)	(94.8)	(0.0)							
	汚水処理人口普及率(%)	73.1%	42.5%	30.6%					9.8%増加	コスト削減の内容	
	汚水未処理人口(人)	8,457	0	8,457					3,078人減少	H28-37コスト削減額	
計画区域内人口	31,400	13,330	18,070							小型マホールの使用	
計画汚水量(m3/日)※日平均	3,999	3,999								再生土の使用	
計画汚泥量(t/日)※日平均	3.09	3.09								ベントサイフォンの採用	
概算 事業費	流域関連公共下水道建設費(百万円)	3,385	3,385							曲管の採用	0.9億円
	流域下水道建設費(百万円)	2,231	2,231							推進区間の削減	0.2億円
	計	5,616	5,616							合計	1.1億円
実行メ ニュー	整備人口1人当たりの建設費(千円/人)	609	609						効果	中間年度(H32末)の 汚水処理人口普及率	
	低コスト手法による整備		○						推進区間の削減、曲管の採用	全体	66.5%
	事業費の増加による事業期間の短縮		○						事業期間の4年短縮	下水道	26.5%
										下水道(暫定浄化槽)	40.0%